

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 ○ 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	1	児童発達支援も兼務しているため、時間帯や回数などは状況により希望に応じるための調整が難しい時や、多くの職員が関わることが難しい場合がある。
	2 訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	12	0	教材を必要とするケースは少ないと思われるが、個々の状況に合わせて適切な準備をする。また、実際の物（教具教材）を提示することで、口頭説明よりもわかりやすく、イメージがもちやすい場合などには活用していく。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	職員会議などの場で、共有できるようにする。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	
	5 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	関係する職員で意見交換をし、業務改善に努める。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	7	内部監査や保護者による事業所評価を行い、全体で共有し、改善に努める。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	2	保育所等訪問支援に関連した研修会の参加はなかったが、日々の発達支援にも保育所等訪問支援でも必要な本人支援・家族支援について学ぶ機会があった。
適切な支援の提供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	12	0	支援する際には、家庭訪問し、ニーズや課題のアセスメントを行い、保護者の意向も踏まえたくらうて計画を作成する。
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	12	0	支援する際には、支援先の施設に訪問し、ニーズや課題のアセスメントを行う。
	11 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	職員が集まる場での報告や回覧等で全体周知を図っている。
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	一人で訪問することもあるが、担当職員間で連携して支援を行う。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	12	0	
	18 毎回の支援に関して、記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	訪問ごとに、保護者や支援先施設に連絡を入れ、報告とともに、モニタリングも行う。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		
21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		

関係機関や保護者との連携	22	就学等の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	1	保育所等訪問で専門機関から助言を受けることはないが、外部の研修は希望すれば参加できる環境である。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	2	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	電話連絡や訪問、面談を通して保護者と情報共有を図る。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	契約時に時間を設けて説明を行っている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	12	0	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	12	0	計画説明時は、家庭訪問など、対面で丁寧に説明をして同意を得ている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	訪問支援の報告とともに、保護者の思いや悩みを聞いて対応する。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	11	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	11	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	12	0	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	12	0	支援実施後に、訪問先と時間が取れば、直後に話し合う時間を設けてもらったり、難しい場合は電話で行っている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	12	0	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	12	0	訪問先の体制や思いを確認しながら、取り組みそうなことから提案することで、関係づくりに配慮している。
非常時等の対応	42	事業所として、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3	訪問先で事故や災害があった場合には、BCP(事業継続計画)に基づき、訪問先のマニュアル・指示に合わせて行動することを想定している。
	43	事業所として、安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	3	
	44	事業所として、ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	2	

45	事業所として、虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	
46	事業所として、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定しているか。	12	0	